

子ども女性

保育園待機児童や保護者のニーズにどのように対応していくか

換を密に行いながら連携を図っていく。

就学前教育を充実させる連携について

中江みわ議員(フオ) ①市独自の就学前カリキュラムの指針を策定してはどうか。
②小1プロブレムに対応する具体的な取り組みは。

市長 ①都が小学校教育との接続を踏まえて作成した就学前教育カリキュラム等を活用し、子どもたちの生涯にわたる生きる力の育成に努めていく。
教育長 ②ティーチング・アシスタントの配置やブレ1年生事業等を実施しているほか、就学前の教育や支援について小学校への橋渡しのためにこげら就学支援シートを活用している。

再び、妊娠、出産、子育ての希望が持てる小平市の実現に向けて
磯山 亮議員(政和) ①不妊治療への経済支援の必要性に対する認識と実施できない理由は。②3世代同居や近居についての支援を行うべきだがどうか。

幸田昌之議員(公明) ①今年度から実施している利用者支援事業の今後の展開は。
②私立幼稚園協会とのさらなる連携、情報交換が必要では。
市長 ①教育・保育施設に入園できなかった人へのアフターフォローの業務に取り組むとともに、教育・保育サービスの情報提供のみならず、より広範な子育てに関する情報提供と適切な案内ができるよう努めていく。
②認可保育園等からの幼稚園への受け入れに関する協議等を行っているっており、引き続き、情報交

に余裕ができてきたときの市立保育園及び私立認可保育園の今後をどう考えているか。
②待機児童解消の一つとして、積極的な在宅子育てを選択するためのさらなる支援が必要では。
市長 ①将来的には定員設定の変更など、施設運営の見直しも視野に入れていくことが必要と考えている。

②地域子ども・子育て支援事業を中心とした子育て家庭が安心して生き生きとした生活が送れるよう事業計画に沿った支援の拡充を推進していく。
滝口幸一議員(フオ) ①待機せざるを得ない保護者の状況は。②今後の待機児童対策は。

保育園待機児童の状況と今後の対応について
市長 ①アンケート調査によると、待機児童を抱えている常勤者の世帯は、いずれも3月までは育児休業の取得中であつたことから、多くは育児休業を継続していると推測している。
②子ども・子育て支援事業計画の確保方策に沿って、主に認可保育所や幼保連携型認定こども園等の整備により、本年度から29年度末までの3か年でゼロ、1、2歳児を中心とした待機児童の解消に努めていく。

ゼロ、1、2歳の居場所づくりとして子ども広場の拡充を
小林洋子議員(フオ) ①子ども広場について、開催場所をふやすなどの検討はしているか。
②密室育児とならないよう市が行っている育児支援はあるか。
市長 ①ニーズの把握に努め、子ども・子育て審議会の意見も

きめ細やかな子育て支援施策の充実について
磯山 亮議員(政和) ①人口が減っていく段階に入り、定員



子ども広場の様子(上水本町地域センター)

聞きながら検討していく。

②乳児家庭全戸訪問事業を実施しているほか、育児不安が強いといった支援が必要な家庭には、子ども家庭支援センターや保健師が継続してかわかるとともに、必要に応じて育児支援ヘルパー派遣等の在宅サービスを提供し、虐待防止を図っている。

道路交通

小平都市計画道路3・4・23号線開通時の交通対策について
佐藤 徹議員(公明) ①玉川上水通りと3・4・23号線の交差点には開通時から信号機を設置が必須と考えるが、見解は。
②開通に伴う、十二小通りの交通安全対策は。

市長 ①交通管理者による現地調査を行い、横断歩道の設置にあわせて、信号機も設置する方向で協議を進めている。
②車道の拡幅にあわせて新た

に両側に幅3・5mの歩道が新設されることから、歩行者等を中心とした安全性の向上が期待できるものと認識している。

B 地域に早期に公共交通の導入をすべき

佐藤 徹議員(公明) ①コミュニティタクシーの運行について、市南西のB地域が実証実験運行に至らなかった要因は何か。
②中島町、上水新町の運行実現へ向けた課題は。

市長 ①検討組織が立ち上がるのが前提であり、さらに地域全体に地域の人々が主体となつて運行していくという機運を広げていく必要があることから、実証実験運行に至っていない。
②狭隘な道路が多いことなどの課題があると認識している。
地域の課題については、コミュニティタクシーを考える会で検討がされるものと考えている。

鈴木中通りの万年塀を撤去改善し安心・安全の生活道路にせよ
吉瀬恵美子議員(共産) ①鈴木中通りに面した万年塀の危険性については事業所に対し改善の協力を呼びかけていくとのことだったが、その後の経過は。

鷹の台駅周辺や学園坂商店街などの道路整備について
山岸真知子議員(公明) ①鷹の台駅周辺の路面整備の必要性の認識と今後の整備計画は。
②学園坂商店街の道路整備について、今後の予定は。

②鈴木中通りに対する認識は。
市長 ①平成25年に小金井カントリイ倶楽部に万年塀の改修について理解、協力をお願いしている。現状として、万年塀の高さが2mを超える箇所が一部あることから、再度、改修についてお願いしていく。

②近隣住民の生活に密接に結びついた道路と認識しており、歩道の段差を解消する整備工事等を計画的に実施していく。
「コミュニティタクシーの南東部地域の運行ルートを拡充せよ」
吉瀬恵美子議員(共産) ①試行運行が開始された鈴木町ルート

の運行実績の評価は。
②花小金井南町ルートなど今後のルート拡充の方向性は。
市長 ①ほかのコミュニティタクシー試行運行開始時の乗車人数と比較しても遜色のない利用状況であり、一定の評価ができるものと判断している。
②現時点では困難と考えているが、運行地域については運行開始後もコミュニティタクシーを考

える会においてルート変更も含めた運行システムの改善等を検討しており、南東部地域についても引き続き検討していく。
鷹の台駅周辺や学園坂商店街などの道路整備について
山岸真知子議員(公明) ①鷹の台駅周辺の路面整備の必要性の認識と今後の整備計画は。
②学園坂商店街の道路整備について、今後の予定は。

市長 ①舗装面のひび割れや段差の解消等の整備の必要性は認識している。計画については未定だが、商店街や近隣住民の意

見を伺いながら検討していく。
②住民からひび割れ等の対応の要望を受け、商店会に相談したところ、整備することの同意を昨年度もらえたため、今後、必要な手続を踏まえながら、計画的に実施していく。

市内の生活道路整備の状況について

細谷 正議員(共産) ①小川駅北側踏切と中宿通りの踏切横断及び小川駅南側踏切と二通りの踏切横断の安全対策は。
②ガードパイプや歩道のくぼみの補修の優先順位はどうか。

市長 ①鉄道事業者が白線で区分しカラー舗装している踏切内の歩道に当たる部分に、市道の路側帯や歩道から誘導すること、歩行者等の通行を確保している。また、接続する市道の安全対策として、路側帯内をカラー舗装している。
②歩道の利用状況や施設の老朽化、損傷の程度等を考慮しながら設定している。

公共施設

なかまちテラスと市の公共施設マネジメントの展望について
松岡 篤議員(政和) ①なかまちテラスの施策に関して、来場者数や利用者満足度指数等の定量的な目標値はあるか。
②公共施設の更新費用に関する現段階での方向性は。

設定していないが、満足度、認知度、集客力を高めるさまざまな工夫をしている。
市長 ②全ての施設を現在と同様に更新する費用を賄うことは極めて難しいため、最適な施設配置などを通して持続可能で安全な公共施設とする必要がある。

学校体育館、校庭のスポーツ開放について
虻川 浩議員(公明) ①団体開放について小学校が全19校なのに中学校が1校なのはなぜか。
②開放日、時間帯はどのように決めているのか。

市長 ①中学校については、部活動で体育館や校庭を使用していることから原則として開放していない。第一中学校については、地域開放型の機能を有した体育館を整備したこと、開放校として位置づけている。
②学校長の意見を聞き、学校教育に支障のない範囲で団体開放等の種類に応じて定めている。
学校を含めた子どもたちが使用する場所の環境について
小林洋子議員(フオ) ①季節によつては校庭の砂ぼこりがひどいことがあるが、校庭へのスプリンクラー導入の検討は。

②市が所有するグラウンドについて人工芝のサッカーグラウンドを整備することは可能か。
教育長 ①各学校に手動式の散水設備があり、必要に応じて使用している。自動式のものについては今後の課題と捉えている。
市長 ②グラウンドによつて特性や目的が異なることから、利用団体のニーズを把握し、調整を図りながら研究していく。

市長 ①舗装面のひび割れや段差の解消等の整備の必要性は認識している。計画については未定だが、商店街や近隣住民の意

見を伺いながら検討していく。
②住民からひび割れ等の対応の要望を受け、商店会に相談したところ、整備することの同意を昨年度もらえたため、今後、必要な手続を踏まえながら、計画的に実施していく。